

◎ファーストCら、新築Mの独自ブランド

― 初弾「南大沢」、来月2日にモデルR

ファーストコーポレーションは、中央住宅、中央土地住宅建物と共同で新築分譲マンションの独自ブランドとなる「CANVAS（キャンバス）」を立ち上げた。幸福を意味する「ウエルビーイング」を主題に掲げ、健康や介護、食にまつわるオプション・サービスを提供する。初弾物件の「キャンバス南大沢」（東京・八王子市、181戸）の販売を22年1月に始める。発売に先立って10月2日にモデルルームを開設する。22年11月の完成・入居開始を予定している。

3社が手を組むのは今回が初めて。第2弾以降を東京など1都3県で展開する方針だ。初弾物件の所在地（地番）は八王子市鎌水2―95―1。立地は京王相模原線・多摩境駅徒歩16分。鉄道駅や物件の3km圏内に住民専用の無料シャトルバスを巡回させる。建物内にはコワーキングスペースやフィットネスジム、大浴場、コンビニなどを配置。地域住民も利用できる屋外レストランも開く。単身者とファミリー、若い世代から高齢者まで多様な層をターゲットにしている。

施設規模はRC造9階建て。間取りは1DKと3LDK、専有面積32・47と82・35㎡。駐車場49台（平置き36台など）。販売価格は現時点で未定。施工者はファーストコーポレーション。同社傘下のファーストエポリューションが販売代理・管理運営を担う。伊藤忠ハウジングも販売代理を担当する。

杏林大学病院らと提携しており、入居者は24時間、医療相談を受けられる。敷地内には入居者専用の畑を用意する。車や電動自転車のシェアサービスも導入する。館内の店舗はキャッシュレスに対応している。